

# 岩見沢市地域公共交通網形成計画策定検討資料

## ～岩見沢市内バス路線の最終バス時間繰り下げ実証実験調査結果～



【委託者】 岩見沢市 企画財政部 企画室

【受託者】 日本データサービス株式会社

# ～ 1. 実証実験概要 ～

## (1) 実証実験の目的

岩見沢市民における公共交通の利便性向上のため、市内を運行する路線バスの問題点の解決、市民ニーズに即したバスサービス水準の検討に向け、中央バス路線「栄町線」における最終時間帯の繰り下げの実証実験を実施し、今後、岩見沢市内を運行する他バス路線における最終バス時間繰り下げの可能性を検討することを目的とする。

## (2) 実証実験期間

平成28年1月8日（金）～2月26日（金） 計8回

※毎週金曜日のみ運行

## (3) 実証実験の利用実態把握調査の対象

中央バス路線「栄町線」における運行車両の利用者を対象

## (4) 実証実験の利用実態把握調査の方法

調査員が実証実験の車両に乗車し、利用者を対象にヒアリング調査を実施

総利用者数:61人

# 1. 実証実験概要

## (5) 周知活動実績

実施日時	周知活動項目	対象	備考
1/1	新聞報道	全市民	プレス空知
1/4~	パンフレット回覧	沿線町会 住民	利根別地区協 (4町会) 東地区協 (7町会) 新東地区協 (7町会)
1/4~	広報いわみざわに記事掲載	全市民	
1/6	新聞報道	全市民	道新 (朝刊空知面)
1/6~8	パンフレット配布	中央バス岩見沢ターミナル利用者	600人
1/8~	市ホームページに掲載	全市民	
1/13~15	パンフレット配布	JR岩見沢駅利用者	400人
実証実験実施日 ※毎週金曜日	パンフレット配布	中央バス「栄町線」 21:30 (岩夕発)の利用者	61人

# 中央バス栄町線 1~2月 毎週金曜日 22時台が 増便します！ 最終便が遅くなります！

岩見沢市が実施した市民アンケート調査などで、最終バスの時刻が早いため、バスを利用しないといった意見をいただいたことから、岩見沢市では北海道中央バス株式会社のご協力のもと、中央バス「栄町線」で、遅い時間帯のバスの増便運行を行うこととしました。  
ご帰宅に、ぜひご利用ください。 岩見沢市地域公共交通活性化協議会（事務局：岩見沢市企画財政部企画室）

**運行路線** 北海道中央バス【栄町線】  
『岩見沢ターミナル』発⇒『さかえ公園』着  
※さかえ公園止まりとなります（循環運行は致しません）

**運賃** 通常の栄町線の運賃と同額です



**増便時間** 22時35分発

岩見沢ターミナル	労災病院門	418条東目	栄町	労災病院門	岩見沢ターミナル
→	190円	210円	230円	—	—
		新東町入口発	6:39	6:44	6:55
6:45	6:54	6:57	7:03	7:08	7:19
20:27	20:36	20:39	20:45	20:50	21:01
21:30	21:39	21:42	21:48	さかえ公園止	
22:35	22:44	22:47	22:53	さかえ公園止	

**運行日程** 1月~2月の 毎週金曜日 ※その他の曜日は、増便運行いたしません。

**1月**

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

**2月**

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

【お問合せ先】岩見沢市 企画財政部 企画室（担当 中川／森）  
☎0126-23-4111（内線412）

# ～ 1. 実証実験概要 ～

## (6) 実証実験の利用実態把握調査の項目

### 【目視判断】

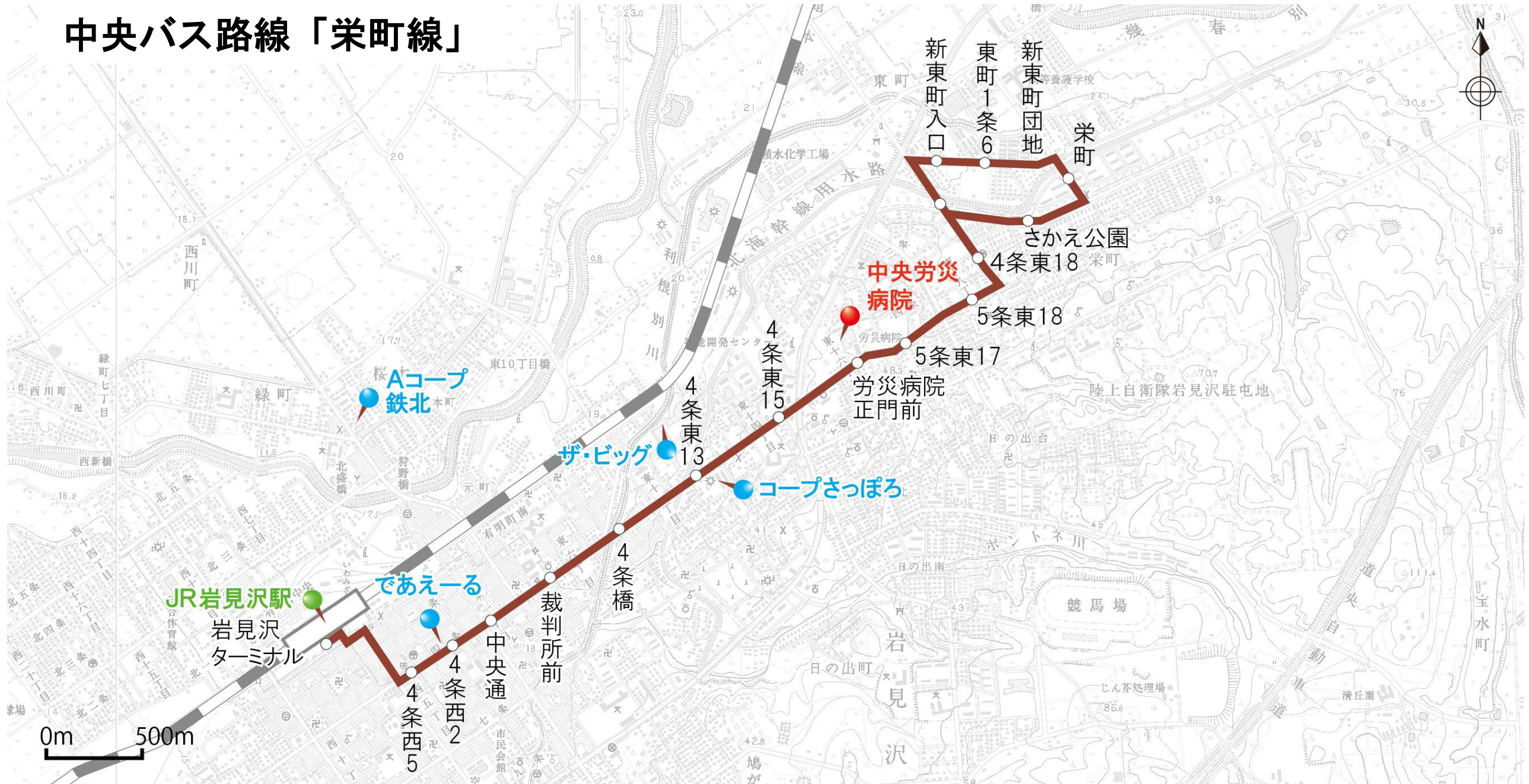
- (1) 利用区間
- (2) 性別
- (3) 年代

### 【ヒアリング項目】

- (1) 実証運行を知ったきっかけ
- (2) 利用回数
- (3) 利用目的
- (4) 乗り継ぎ（乗車前）
- (5) 実証運行前の交通手段
- (6) 今後の利用意向
- (7) 最終バス時間繰り下げについて
- (8) 職業

## 2. 実証実験対象路線

### 中央バス路線「栄町線」



# 3. 調査結果

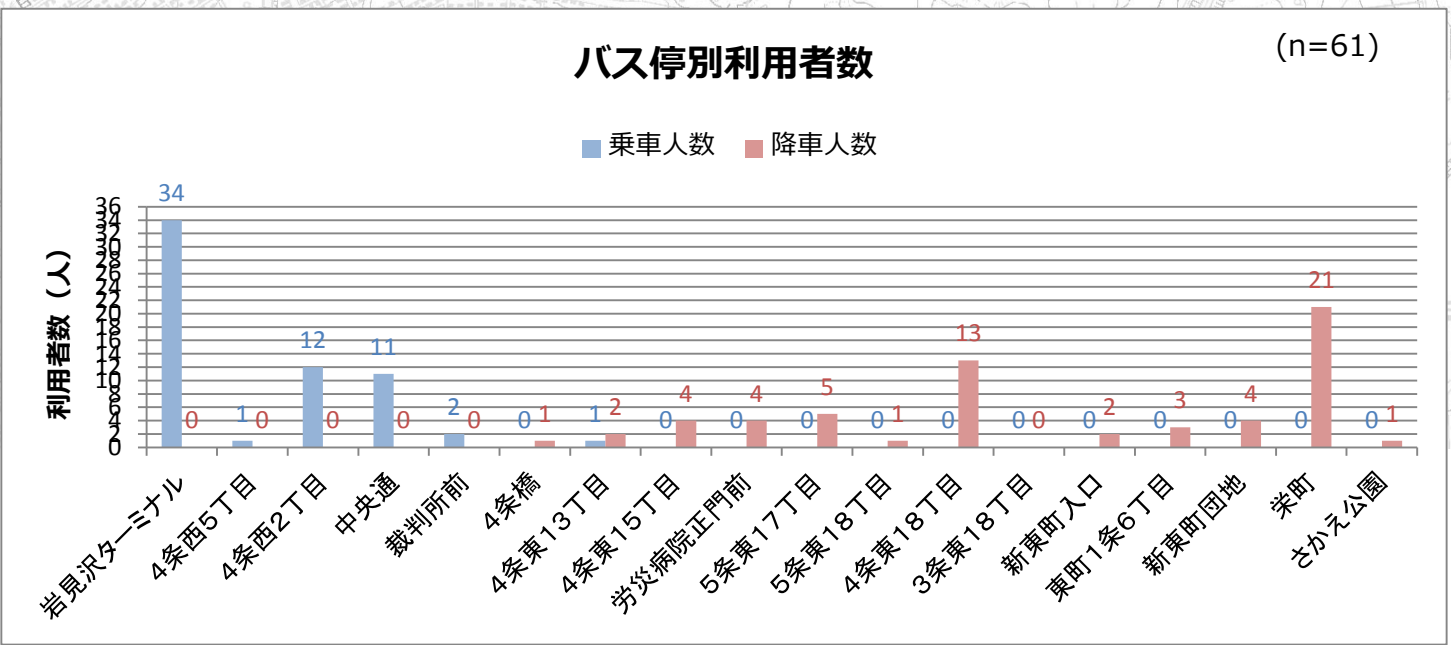
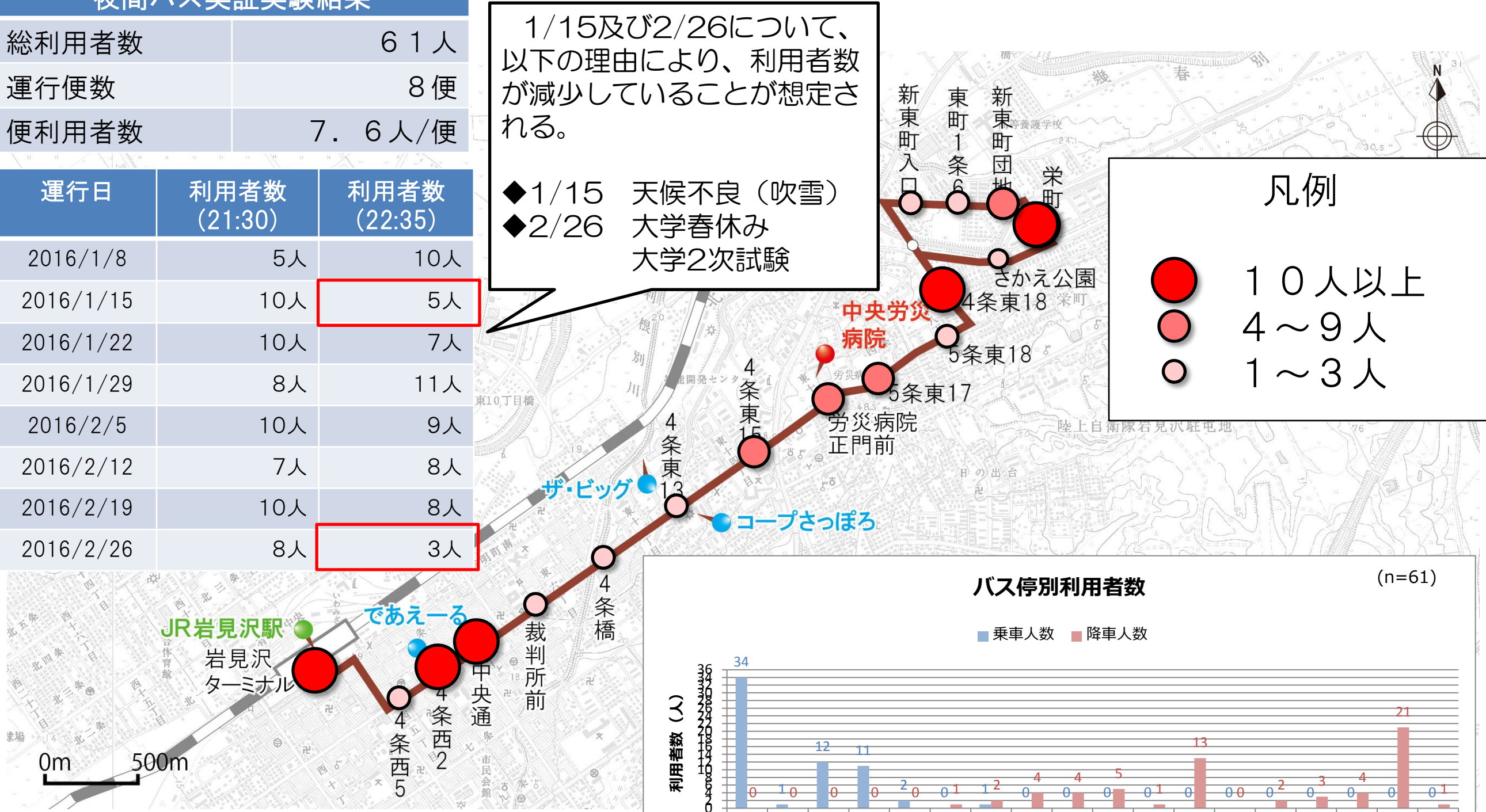
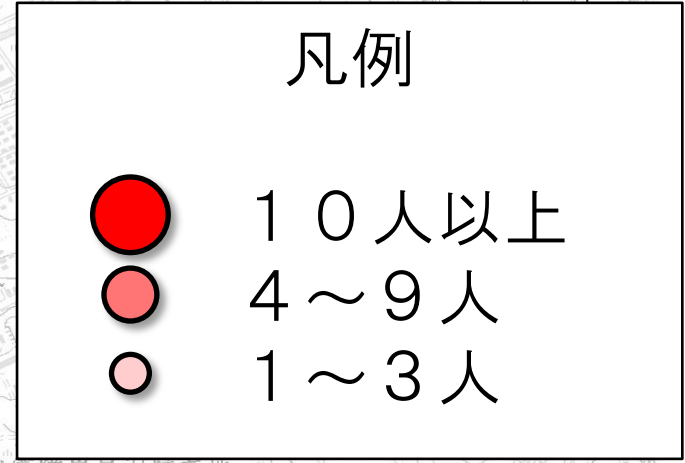
## 夜間バス実証実験結果

総利用者数	61人
運行便数	8便
便利用者数	7.6人/便

運行日	利用者数 (21:30)	利用者数 (22:35)
2016/1/8	5人	10人
2016/1/15	10人	5人
2016/1/22	10人	7人
2016/1/29	8人	11人
2016/2/5	10人	9人
2016/2/12	7人	8人
2016/2/19	10人	8人
2016/2/26	8人	3人

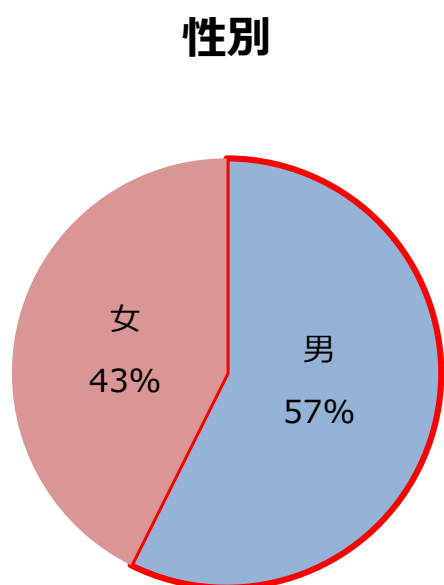
1/15及び2/26について、以下の理由により、利用者数が減少していることが想定される。

- ◆1/15 天候不良（吹雪）
- ◆2/26 大学春休み  
大学2次試験

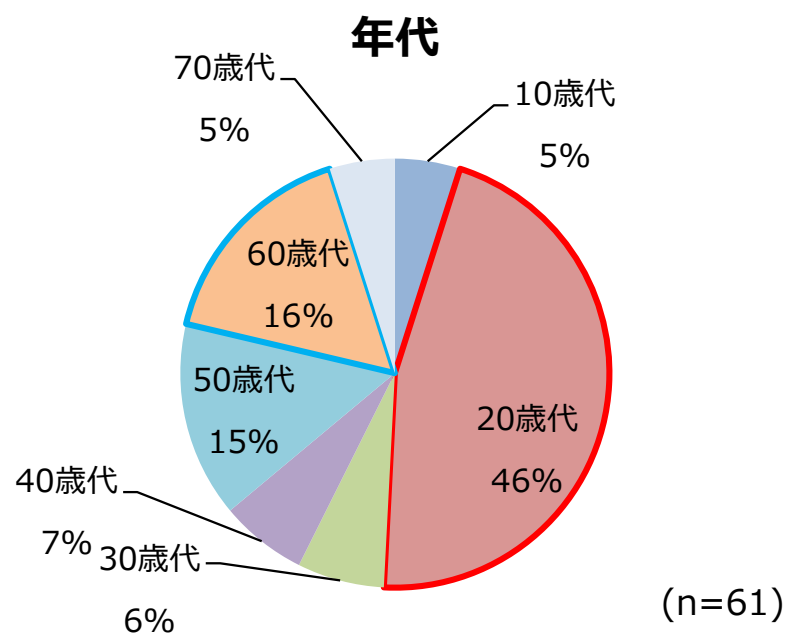


## 4. 実証実験の利用実態把握調査結果

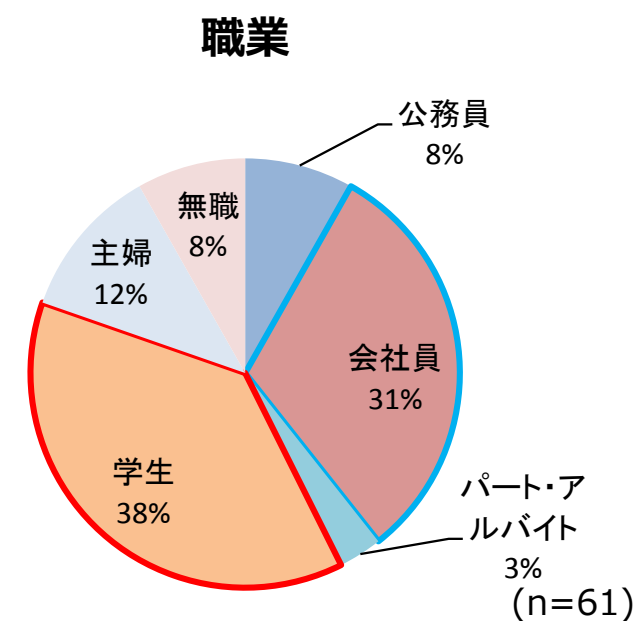
- ◆性別は『男性』は約6割、『女性』は約4割となっている。
- ◆年代は『20歳代』が約5割となっており、次いで『60歳代』が約2割となっている。
- ◆職業は、『学生』が約4割、『会社員』が約3割となっている。



(n=61)



(n=61)

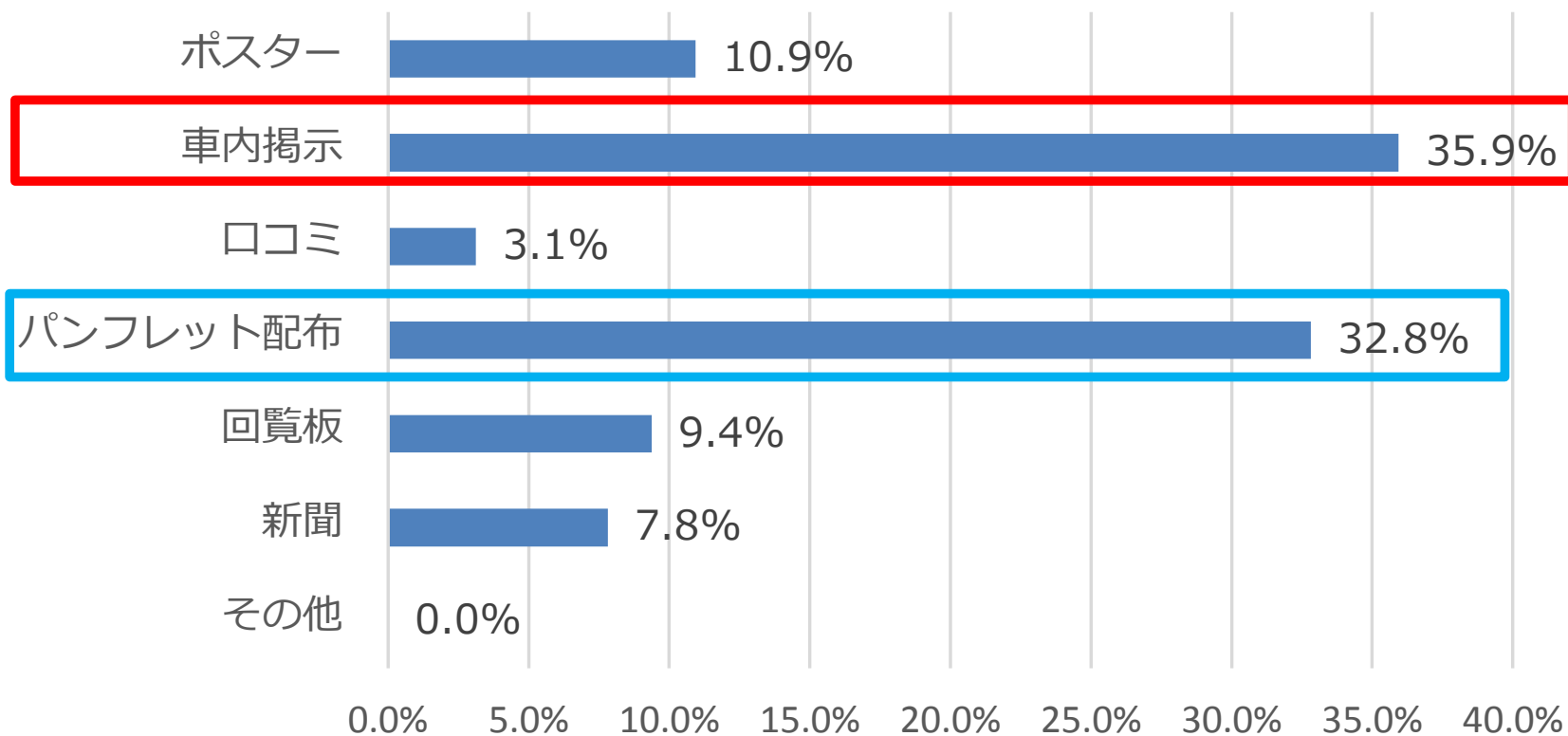


(n=61)

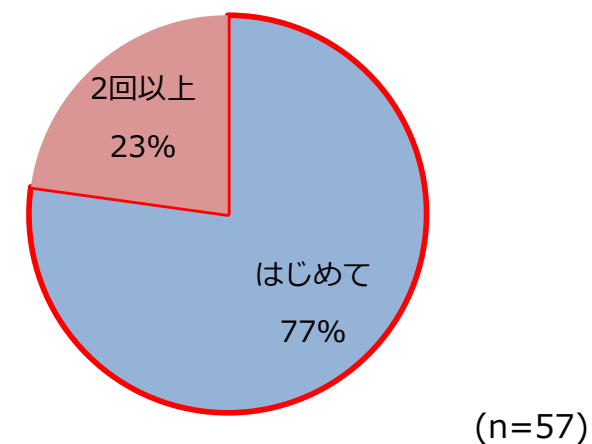
## 4. 実証実験の利用実態把握調査結果

- ◆実証運行を知ったきっかけは、「車内掲示」が約4割となっており、その他、「パンフレット配布」が約3割となっている。
- ◆利用回数は「はじめて」が約8割、利用目的は全目的が「帰宅」となっている。

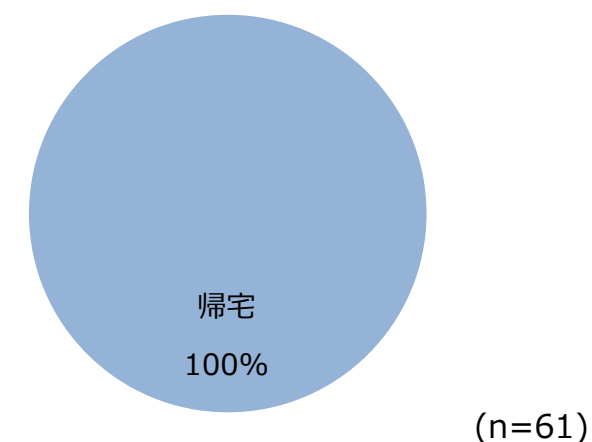
### 実証運行を知ったきっかけ (n=61)



### 利用回数



### 利用目的



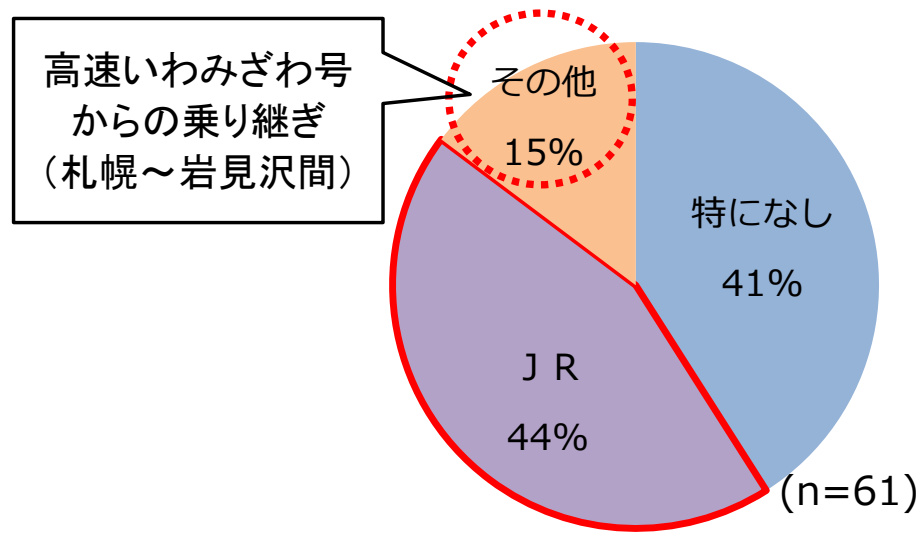


## 4. 実証実験の利用実態把握調査結果

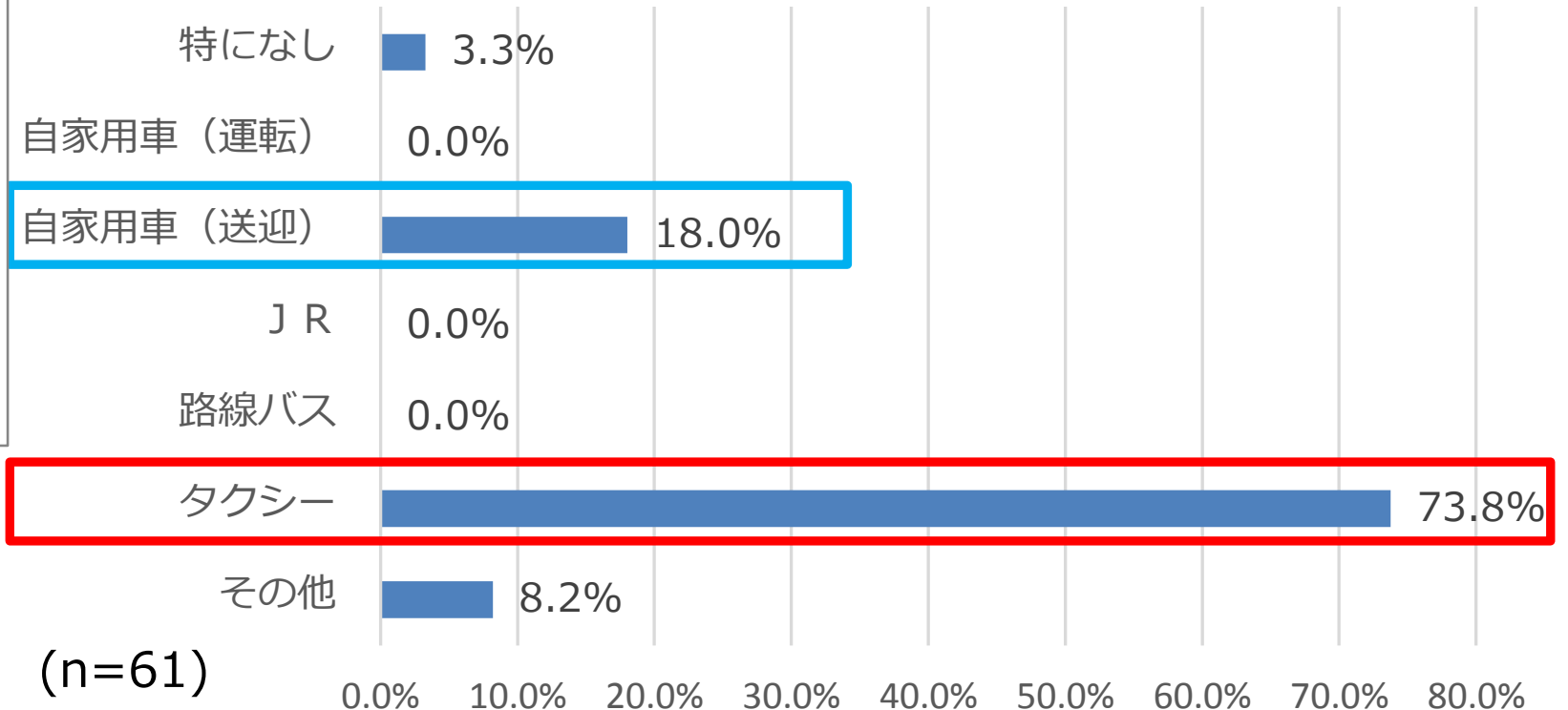
- ◆実証運行実施時における乗車前の交通手段は「JR」からの乗り継ぎは約4割、「その他（高速いわみざわ号）」は約2割であった。
- ◆実証運行実施前の交通手段は、「タクシー」の利用が約7割、「自家用車（送迎）」が約2割となっている。

### 実証運行実施時の乗り継ぎ

#### (実証運行便乗車前)



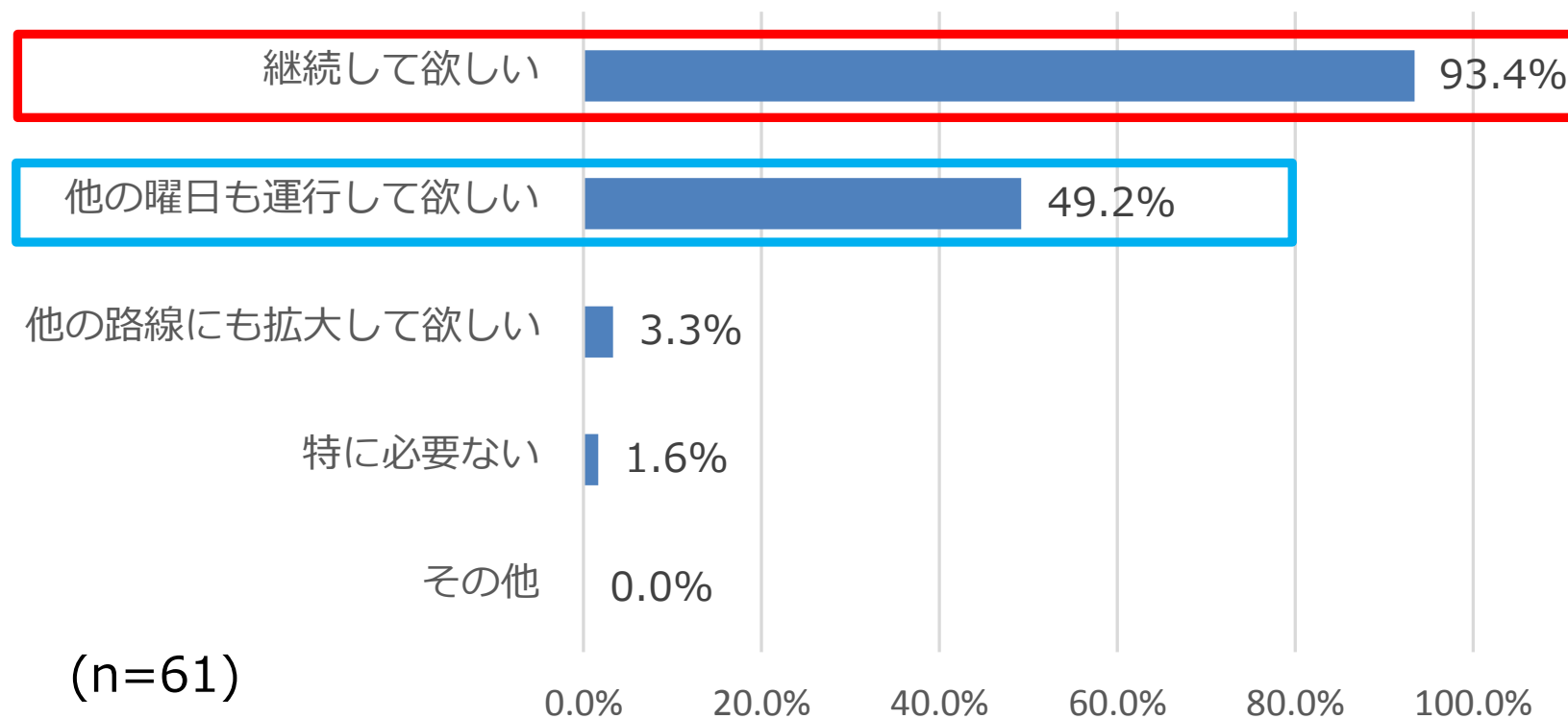
### 実証運行実施前の交通手段



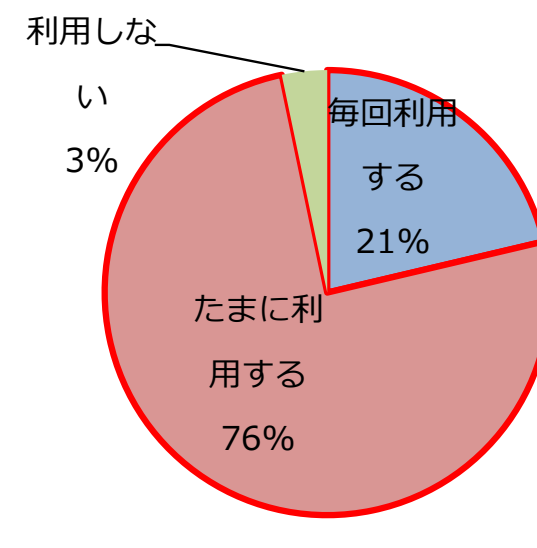
## 4. 実証実験の利用実態把握調査結果

- ◆最終バス時間帯の繰り下げについて、「継続して欲しい」が9割以上となっている。また、「他の曜日も運行して欲しい」が約5割となっている。
- ※ターミナルで行ったヒアリング調査では、実証実験を希望する他の路線として、「かえで団地線」「三笠線」等が挙げられている
- ◆今後の利用意向は、9割以上が利用すると回答している。
- ※実証実験の利用者から、運賃の増額をしてでも利用したいとの声があった。

### 最終バス時間繰り下げ



### 今後の利用意向



## ～ 4. まとめ ～

### ◆利用ニーズに応じた運行内容の見直し

- ・ 総利用者数は61人（便当たり利用者数：7.6人/便）であった
- ・ 利用が多い区間は、中心市街地内～団地区間であった
- ・ 実証実験の利用者から、運賃の増額をしてでも利用したいとの声があった

### ◆継続実施を望む要望

- ・ 「タクシー」や「自家用車（送迎）」からの転換が多い
- ・ 運行を「継続して欲しい」や「他の曜日も運行して欲しい」とした継続の声がある
- ・ ターミナルで実施した周知活動では「他の路線にも拡大して欲しい」との声がある

## ～ 5. 今後の課題 ～

### ◆運行曜日及び適切な運行車両等の検討

- ・本実証運行では、家族などによる送迎やタクシーの利用からバスへの転換は見られたが、自ら自家用車を運転することからの転換は見られなかった

要因

毎週金曜日のみの運行



常時、運行時間帯の遅いバスを利用できる環境になかった

常時、運行時間帯の遅いバスを利用できる環境にある場合

「自家用車(運転)」から路線バスの利用に転換すると推察

他の曜日についても運行を行うことを継続的に検討

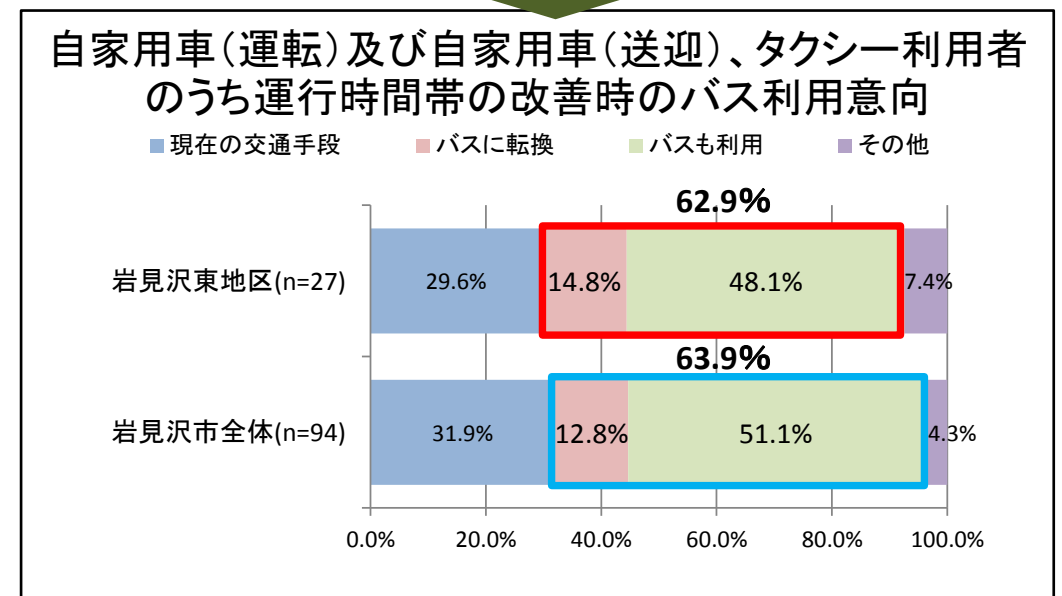
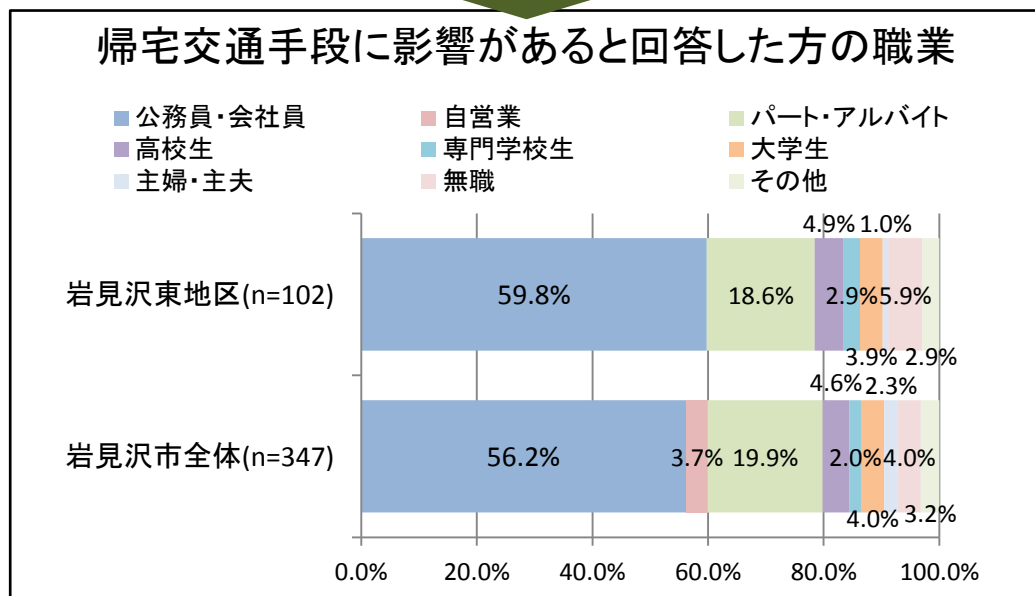
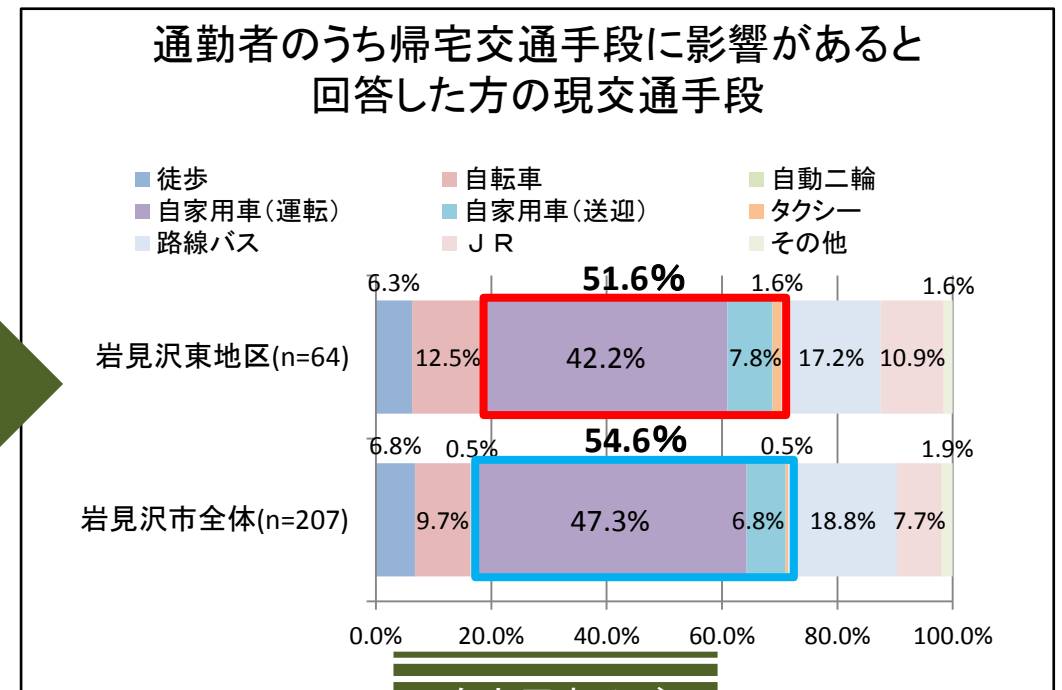
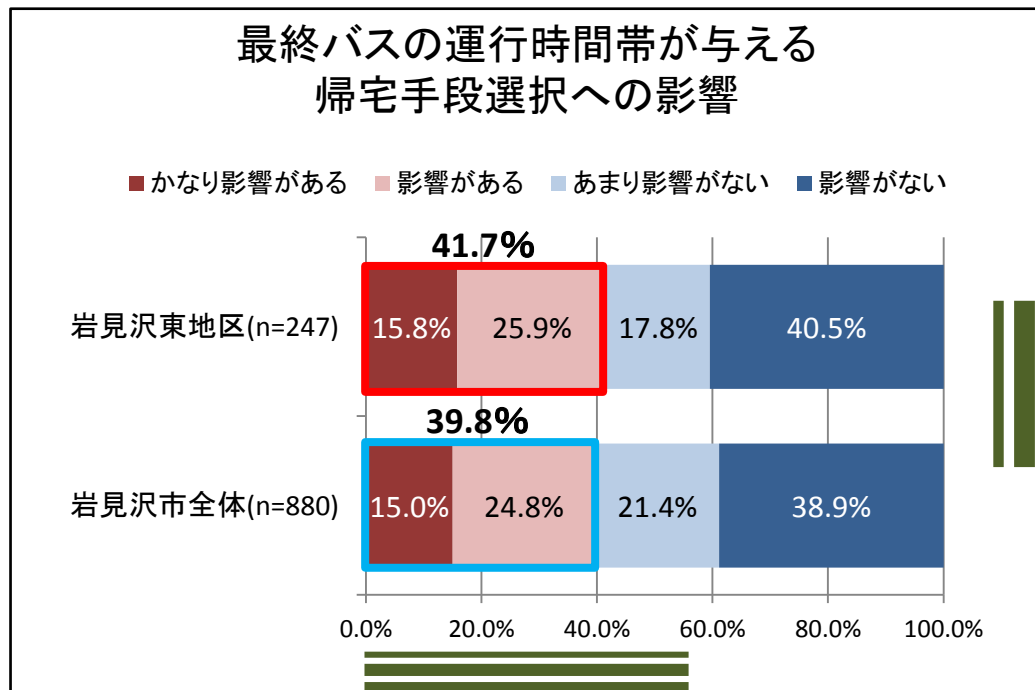
※他路線でも、増発便の要望があることから、導入する路線についても継続的に検討

- ・本実証実験では7.6人/便の利用者
- ・一方で最大利用者数は11人/便



ワゴン車両などの運行車両、運行主体、運賃等について継続的に検討

# ～ 参考資料 ～



出典：H26住民ニーズ把握アンケート調査・H26パーソントリップ調査